

平成 25 年度 環境技術実証事業 自然地域トイレし尿処理技術分野

第 5 回技術実証検討会 [議事要旨]

日時	平成 26 年 3 月 13 日(木)14:00 ~ 17:00
場所	青山生涯学習館 学習室 2
出席者	<p>検討員</p> <p>相野谷 誠志 (株)蒼設備設計 設備設計部 課長</p> <p>荒井 洋幸 山梨県観光部観光資源課 課長</p> <p>岡城 孝雄 (公財)日本環境整備教育センター 企画情報グループグループリーダー</p> <p>河村 清史 元 埼玉大学大学院理工学研究科 教授</p> <p>木村 茂雄 神奈川工科大学機械工学科 教授</p> <p>桜井 敏郎 (公社)神奈川県生活水保全協会 理事</p> <p>穂苅 康治 槍ヶ岳観光(株) 代表取締役</p> <p>環境省</p> <p>一瀬 克久 自然環境局自然環境整備担当参事官室 係長</p> <p>杉野 正弘 自然環境局自然環境整備担当参事官室 施設専門官</p> <p>津田 京子 自然環境局国立公園課 課長補佐</p> <p>実証運営機関 (株式会社エックス都市研究所)</p> <p>乾 哲也 サステナビリティ・デザイン事業本部 新事業創出チーム</p> <p>試料採取・分析機関</p> <p>高橋 悟 (公財)日本環境整備教育センター 調査・研究グループ 調査研究第 2 チーム兼国際支援企画室</p> <p>濱中 俊輔 (公財)日本環境整備教育センター 調査・研究グループ 調査研究第 2 チーム 研究員</p> <p>岡崎 貴之 (一財)日本環境衛生センター 東日本支局 環境工学部 環境施設課 係長</p> <p>森田 昭 (一財)日本環境衛生センター 総局 企画部 日本サテライト・プログラム支援室 技術審議役</p> <p>事務局 (特定非営利活動法人 山の ECHO)</p> <p>上 幸雄、 加藤 篤、 平澤恵介</p>
欠席者	
申請者	<p>岩田 実 株式会社ミッシング 事業開発部 ディレクター</p> <p>町田 喜義 大央電設工業株式会社 代表取締役</p>
議事	<p>1.開会</p> <p>2.議事</p> <p>(1) 実証試験結果報告書の検討 (非公開)</p> <p>(2) 実証試験要領の見直し</p>
配布資料	<p>資料 1 : 自然地域トイレし尿処理技術 実証試験結果報告書 < 案 > (非公開) 大央電設工業株式会社</p> <p>資料 2 : 自然地域トイレし尿処理技術 実証試験結果報告書 < 案 > (非公開) 株式会社ミッシング</p> <p>資料 3 : 実証試験要領 10 版 改訂案</p> <p>資料 4 : 実証試験の実施状況</p>
公開/非公開	議事 (1) は非公開で行われた

[議事要旨]

議事

(1) 実証試験結果報告書の検討（非公開）

- 実証機関、および試料採取・分析機関（日本環境整備教育センター、日本環境衛生センター）より、「自然地域トイレし尿処理技術 実証試験結果報告書〈案〉」（資料1, 2）の報告を行った。
- 本検討会の内容を踏まえ、第3回運営委員会に向けて修正を行った上で、暫定版を実証運営機関に提出することを確認した。また、座長と副座長への最終確認を行い、その後技術実証検討員、実証申請者（大央電設工業株式会社、および株式会社ミッシング）および環境省に確認を行い、3月28日（金）までに環境省へ提出することを確認した。

(2) 実証試験要領の見直し

- 実証機関より、「実証試験要領10版 改訂箇所(案)」（資料3）の説明を行った。
- 実証試験要領11版に向けた見直しについては、実証運営機関から全分野共通の改訂として依頼があった内容を、可能な限り対応することで確認した。
- 「報告書本編の表紙・目次」の検討について、冒頭に[全体概要]として、概要版として作成している報告書をそのまま掲載する形になった。
- 「報告書本編の表紙・目次」については、今後のISO発行に向けた調整も含めて他の分野に歩調を合わせる形で検討を進める必要があるとの意見があった。
- 「報告書概要版」のページ数改訂については、ユーザー側の求めるボリュームを担保するには分野によってそのページ数を一律に減らすことは困難であるとの意見があった。
- 「メーカーからの経過報告」については、努力義務としてメーカーにお願いする旨を追記することとなった。
- 「メーカーからの経過報告」については、追記時に経年実証試験との違いを明確にする必要があるとの指摘があった。

今後の日程について

- 事務局より、報告書提出時期と、検討会後の報告書確認スケジュールについて連絡した。

以上